

中間報告会及び最終発表会での学生から課題解決策の提案
並びに企業様から学生の提案策に対する講評
並びに課題に係る参加者アンケートの設問結果の抜粋



令和2年度 「石狩管内企業と学生との課題解決協働事業」

 **伊藤製缶工業株式会社**

&



堀内ゼミ



【伊藤製缶工業株式会社（堀内ゼミ）】

○課題「工場内のムリ・ムダ・ムラの削減について」

- ・会社の業務が受注型製造業のため工場のムリ・ムダ・ムラが発生しやすい
- ・工場内のマンパワーと機械設備を柔軟に運用することで、工場内への負荷のかけすぎを解消できるようにしたい
- ・工場のある班は過重労働で、仕事が薄いなどと事態を解消できるようにしたい

《中間報告》

堀内ゼミから社内のコミュニケーションの場を設ける、業務上の連絡を強化する及び職場の雰囲気をよくするという3点に着目して、業務上の連絡を強化のため、タブレット端末の設置、5S活動を考えるため、5Sイベントの開催、良い雰囲気づくりのため、アイスブレイクや目安箱の設置、イベント開催の3点を提案。

《最終発表》

中間報告の際の企業様からコストや場所等の制限なく伸び伸び考えて欲しいという要望を受けて、全体のコミュニケーションの場が少ないことや連絡の環境が弱いように見えたので、業務上の連絡を強化するため、各部署にタブレットの設置、社内コミュニケーションの向上のため、社員食堂の導入やリフレッシュルームの設置や、社内通貨の導入及び端材や余った材料等でオブジェ等を自由に制作するほか、目安箱を設置するなどして、意見を拾い上げる場を設けることなどの3点を提案。

《最終発表における企業様からの講評》

タブレット等を使ったり、会議アプリなんかを使うということも非常に若い人らしい新鮮な意見でありがたいと思います。実際の現場の本当のニーズに合わせて、こういったものを使ってもいいんじゃないかというところを、こういう感じの意見を取り入れて、少しでも会社が良くなるようみんなで話し合いしていきたいと思います。少しずつ最近使われているようなシステムについて着目してもらっているのも、やっぱり、さすが若い人ならではのアイデアだなと思って非常にありがたく聞きました。忙しい部署と忙しくない部署の関係の点で、端材とかで、ものを作るという意見、すごく参考になりました。うち、どうしても受注企業なんで、お客さんにこれできないのというのに対応するのが多いんですけど、本当は、ものづくり企業としたら、自分たちでいろいろあーじゃない、こうじゃないといういろんな研究開発的なことをして、いろんな意見を寄せ集めて、お客さんのニーズの先に行くまでじゃなくて、こんなニーズ出るんじゃないかなというところの研究までできればいいんですけど、なかなかそこまで、できていないところがあるんで。私たちの会社にとっても非常に刺激になって、素晴らしい発表だったと思いました。

《課題に係るアンケート結果抜粋》

○企業の課題内容

(回答数：教員1名：学生5)

	満足	やや満足	やや不満	不満
教員	1	0	0	0
	適正	やや難しい	難しい	
学生	1	2	2	

○課題に対する提案内容

(回答数：企業1名、学生5名)

	満足	やや満足	やや不満	不満
企業	1	0	0	0
	満足	やや満足	やや不満	
学生	3	2	0	

《オリエンテーション》

10月13日(火) 16時20分～
北海道科学大学G棟305室で実施

《現地フィールドワーク(企業見学会)》

10月15日(木) 8時55分～11時45分(往復の移動時間込み)
伊藤製缶工業株式会社で実施



《中間報告会》

11月18日(水) 14時40分～15時55分
北海道科学大学E棟303室で実施



《最終発表会》

12月1日(火) 10時40分～11時45分
北海道科学大学G棟305室で実施

